



被害を受け倒伏したトウモロコシの畑

◆7月31日の風雨等の被害と雨水排水対策は

問 被害農家の救済支援策と応急雨水排水対策は、角前や九里巾南の住宅地域の排水問題を解決するため、野村桔梗ヶ原地区土地区画整理事業と合わせた整備を。(永井)

答 農作物被害は片丘と広丘が多く、レタス、トウモロコシ、果実の落下等で、被害額は965万円余、緊急支援は病害虫防除の農薬、代作用の種苗代や肥料等の支援をJAと協力して実施する。畑への雨水進入防止はアスカーブの破損箇所を順次直す。野村角前地区排水の一部を雨水幹線へ接続するため、本年度排水路80mを新設し応急策を講じた。区画整理については、地権者の同意率が63.8%と低く、計画エリアの縮小を提案して同意

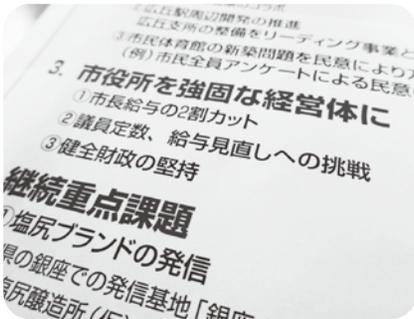
市長選の公約に 関して

◆市長の選挙公約について

問 市長給与2割カットに伴う副市長等の給与と議員定数や報酬の考え方は。(永井)

答 市役所を強固な経営体に改革するため、自己責任と自己決定の覚悟を示し、基盤固めに向けた一助としたい。副市長、教育長の給与も同じ方向で検討する。議員定数については、より簡素で効率的な議会運営をしていただく必要性から定数の見直しと、議員

率を高めたい。九里巾南の雨水排水の抜本策は、田川左岸4号雨水幹線により放流する計画で、区画整理事業との整合が事業化する前提。



議会としての視点を示した議論を



本会議審議中の議場

報酬額は議員活動の活性化と議会の機能アップにふさわしい額を考え、報酬審議会に諮ったうえで提案したい。

問 議員定数と報酬の見直し
答 市長は、議会の活性化のため見直すと言っているが、議会の現状をどう評価しているか。(中村)

答 他の地方議会と比較し、劣っているとは全く思っていない。過日、北川早稲田大学教授から塩尻市議会が進化しているとの電話を頂いた。若い人が政策議論できる議会が望ましい。定数は正の議論が不足している。

問 定数削減やわずかな報酬増が、議会改革や若い人の挑戦の機会の増につながる関係は他市の例を見てもない。議論の時期ではない。(中村)

公共施設へ ペレットストーブ 導入は

◆信州Fパワープロジェクト

問 木質燃料利用促進も含め、公共施設や学校へのペレットストーブ等の導入は。(丸山)

答 公共施設及び学校への導入は、ストーブ更新状況を見て設置を図る。化石燃料高騰の中、ペレット燃料への転換での費用対効果を民間にもアピールしていく。

問 大人だけでなく、子ども向けにも環境及び産業教育のための冊子の作成と、写真や映像での資料作りの考えはどうか。(丸山)

答 小学校高学年と中学生用冊子を作成した。写真・映像についても記録を残し、市民



児童・生徒向け
信州Fパワープロジェクトの説明冊子